

暖房器具からの火災を防ぎましょう！

大阪市内での暖房器具からの火災は、「放火」「たばこ」「こんろ」「電気器具」による火災に次いで、多く発生しています。

実際の火災事例

ケース 1



就寝中に使用していた電気ストーブにふとん等が触れたりして火災となったケース

ケース 2



乾かしていた洗濯物が石油ストーブ上に落下して火災となったケース

ケース 3



石油ストーブの給油中に燃料タンクの蓋が外れて火災となったケース

☆特に節電の観点から、従来お使いになられていたエアコンを控え、物置に長い間しまわれていた日頃使い慣れないタイプのストーブを利用される場合があるのではないのでしょうか？
その際は、**使用上の注意を再確認し**、ご使用ください。

大阪市消防局ホームページに詳しい情報が載っています。
<http://www.city.osaka.lg.jp/shobo/>
「消防」→「火災への対策」へ

～火災を防ぐためのチェックポイント～

- 暖房器具の周りには燃えやすい物を置かない。
- 外出する時や寝る前は、必ず火を消すこと。
- 燃料補給する時は、必ず火を消し、燃料タンクの蓋はしっかり閉めておくこと。